

[別紙 2]

論文審査の結果の要旨

申請者氏名 田中 求

本論文は、ソロモン諸島ピチェ村を事例に、ローカル・コモンズを基盤とする地域社会の動態を地域発展に向けた試行錯誤過程として捉えなおし、地域発展の進展過程を明らかにすることことを目的としている。

序章では、既存の発展論を批判的に検討し、地域発展を地域社会の人々が求める「豊かさ」に向かう過程とし、指標や普遍的な目標に縛られない、多様な地域発展を描くための視点が設定された。そして地理的な枠に限定されないローカル・コモンズと、外部社会との関わりの中でのその動態を把握するために、相互利用ネットワークによって形成されたローカル・コモンズ概念図が提示された。

第1章では、広範な既存文献のサーベイから、ソロモン諸島が法的にも実質的にも慣習的資源所有が維持され続けてきた数少ない地域の1つであることが明らかにされた。

第2章、3章では、何らかの集団の成員であれば生得的に認められる「成員利用権」と、資源に何らかの「働きかけ」を行うことで認められる「優先利用権」という2つの共同利用権がピチェ村社会において形成されてきた事実が明らかにされ、1960年代以降これらの対象となる範囲が次第に限定される動態が描かれた。

第4章では、1990年代後半以降の商業伐採の導入を、ローカル・コモンズの動態のなかに位置付けるとともに、商業伐採後のローカル・コモンズの混乱状況が説明された。さらに第5章では、2001年に村人が開始した製材販売によって、ローカル・コモンズが再構築される過程が明らかにされた。

第6章では、ローカル・コモンズの動態から見えてきた在地の正当性概念とその揺らぎが明らかにされ、正当性概念に則った魚販売の試行過程が論じられた。

村人が正当(noro)と認める共通認識(以下、noro概念)は、(1)資源の共同利用を認め、収穫物を贈与・分配する「気前の良さ」、(2)相手を強く非難することを禁忌とし、誤りに罰則を加えない「寛容さ」、(3)自己利益のみを追求しない「相互扶助」意識、(4)資源の「豊かさ」を享受し、また優先利用権の主張にも結びつきうる「働きかけ」の重視、であった。

魚販売は、保冷箱に村で買取った魚を入れて運び、都市部で販売するプロジェクトである。魚販売では、村全体での共同漁労、利益の分配、余剰漁獲物の「気前の良い」贈与・分配により、住民間の不和を解消しながら、現金収入を獲得することが目的とされた。し

かし、当初計画していた共同漁労、余剰漁獲物の分配という「気前の良い」振舞いどころか、一部の村人により利益が着服され、新たな住民間の不和を生み出した。さらに天候不順による不漁が続いたほか、都市部では同郷者から「気前の良い」振舞いとしての魚の提供が求められ、減益に結びつくこととなった。

終章では、*noru* 概念を基盤とするローカル・コモنزが内包する地域発展の阻害要因と困難さが考察された。

商業伐採の密契、伐採権料や魚販売利益の着服を厳しく非難しない「寛容さ」は、「負の寛容」とも言い換えられる。寛容さを求められるがゆえに不満が表出することは稀であるものの、相互利用ネットワークの基盤となる信頼関係の崩壊をもたらしやすい。また「気前の良さ」が求められることによる都市部での魚の提供は、減益の原因となっていた。さらに「働きかけ」の重視は、魚販売において漁に出た者のみが利益を得られるという主張に結びつき、「気前の良い」魚や利益の贈与・分配を妨げることになった。

noru 概念の4要素は、その活発化もしくは強調が村人の求める「豊かさ」に結びつくこともあれば、また地域発展を妨げる負の要素にもなりうる。ローカル・コモنزを基盤にした地域発展は、ローカル・コモنز自体が内包する要素が正と負の両側面を持ち、地域を混乱や衰退にも向かわせるという困難さを持っているのである。また、ピチェ村の事例は、外部者が相互利用ネットワークに加わり、地域発展の基盤となりうることを示す一方で、それぞれの描く「豊かさ」が共通性を持ち続けることの難しさも示していた。

以上のように、本論文は十分なフィールドワークに基づき、地域発展の多様性および地域社会内外の関わりによるその長期間の動態を、新たなローカル・コモنزの定義を提示したうえで描き出すことに成功している。さらに、ローカル・コモنزの動態から、在地の価値観、正当性概念とその揺らぎを明らかにして、地域住民の求める「豊かさ」の実現に向けた開発の試行に結びつけた実践性と、その失敗から在地の正当性概念の負の側面を明らかにした。本論文が示した新たな視点および独創的な知見は、近年、活発に議論されているコモنز論、地域発展論、環境正義論に関する学術上および実践上の貢献が大きい。よって審査委員一同は、本論文が博士（農学）の学位論文として価値あるものと認めた。